

附錄

三
條
教
則

關係資料上

三條
考證 神教大意全

明治六年

松下永福編

神教三條大意

明治五年

国井清廉稿

三則正辨

明治七年

味酒麴翁述

三條
考證

神教大意全

序

余、世上ノ説教ヲ聞クニ、區々ニシテ一準ナラザルニ似
タリ。尚、神儒習合、神仏混淆ノ辨説喧シキヨリ僻陋ヲ
醸シ、動モスレハ目的方向ヲ失ハムトスル者無キヲ得
ス。茲ニ、余、儒説ヲ仮ラス、仏説ヲ仮ラス、皇國固有
純粹ノ三條説教ヲ徹底セムト欲スルヲ日アリ。頃（チカシ）ロ、神
学有志ノ友ナル真宗樂運寺住職佐々木祐肇ヲ訪ヒ、屢問
対スルニ、其觀ル處アレハ、此レヲ一冊ニ著サムヲヲ需
ム。祐肇、其管長許可助講ノ身タルヲ以テ、固辭シテ聽
カス。余更ニ謂テ曰、師助講タリ、固ニ辭スルヲナカル
ベシト。遂ニ迫リ乞テ、其講辨ニ出ル所ノ論説ヲ編輯
シ、神教大意ト号シ、有志講究ノ一助トセムト欲スルノ
ミ。

一、本書の刊行の趣旨及著者は序文であきらからかである。

一、本書は九行十八字詰の、序文共に十二丁。

一、版元は東壁堂。

一、原文の訓以外の訓みは（ ）を以て示す。

明治六年第六月

倚翠 松下永福識

三條
神教大意

尾張 松下永福編輯

夫、教憲三條ハ皇教ナリ。大教院御祭典ノ祝詞曰三條能則
定給比食国天下能公民悟導神ノ道尔教倍趣
莫定給比食国天下能公民悟導神ノ道尔教倍趣
オホホトナヒ 任給比大詔褒頂尔畏美受給天トアレバ、掛卷
モ畏キ天皇ノ大御詔トシテ、専ラ皇道ヲ更張セムガ為ノ
故ニ、施設シ玉フ御国是ノ三條ナル事瞭然タリ。サレバ
先ヅ皇国ノ古典ニ就テ、此ヲ窺ヒ、教件ノ御主意ニ不
レ悖ヤウ昧認シテ、而シテ後チ余教ヲモ加ヘ交説スルヲ停
廢シ玉ハザル御布達ナリ。惟レ三條ノ綱領ハ、敬神明倫
ノ二教ニ在リ。而シテ此レヲマタ撰版スレバ敬神ノ一大
訓ニ留マル。則チ神教要旨略解ニ、明倫敬神モ、ト岐シ
テ二項トスベカラズ、ト示サルル釈意モ茲ニ在カ。
敬神愛国ノ旨ヲ体スベキ事
敬神トハ、広クハ朝典ニ所載ノ大小ノ神祇ヲ指シ、略シ

テハ神教要旨ニ掲ゲ玉フ天祖天照大神ト産土神等ヲ敬マ
フ謂レナリ。尚ソノ要ヲ云ハバ、神徳一躰ノ故ニ天照大神
一柱ヲ敬崇スルニ欠ク処ナキ御由縁ナルベシ。古語拾遺
ニ、所謂天照大神者惟祖惟宗尊無二。自余諸神乃子乃
臣。孰能敢抗ヤ、トアル典意ヲ以テモ悟ルベシ。 扱其
神祇ヲ能敬シ奉ル状況ニ就テハ、至誠為レ本ハ勿論ナリ。
凡ソ、祖先ヨリ今日マデ衣食住ノ事物ハ涉リ、神恩大念
報ノ誠意褻瀆ナク、儀容ヲ以テモ神徳ヲ讚跪スル。コレ
報本反始敬神ノ情謂ナル者ナリ。夫レ敬神ノ大訓ハ、
原ト天照大神ノ大御言ニ出デテ、則チ日本書紀神代卷曰
天照大神手持三宝鏡一授三天忍穗耳尊而祝之曰、吾兒
視此宝鏡一当猶視吾可同林共殿以為齋鏡一ト
詔玉フ此レハ八咫鏡ナリ御正体ノママヲサレバ敬神ノ垂訓ハ、此ノ
齋鏡ノ神勅ニ基本スレバ、是レ皇国固有ノ神教ト仰ギ
定メ玉フ御謂レナリ。故ニ神武帝ハ立三靈時於鳥見山一祭
皇祖天神二玉ヒ、御歷朝ノ作法ニハ、先神事後他事。且
暮敬神敬慮無懈怠一ト、洪範ヲ嚴ニシテ行ヒ玉フ。是レ
則チ百王不易、古今敬神ノ御基礎ナリ。扱敬神二字ノ熟

語ハ古事記序ノ敬神祇ノ文コレ正シキ典拠ナリ卷四十五代聖武
神
轉ヒト語ト。五十四代桓武卷二ハ攝社敬神トアリ
リ。五十四代仁明卷二ハ敬神如ク在ト出クリ。

愛國トハ、總シテ大神ノ神勅ニ出ル所ノ齋庭之穗ヲ當レ

御ニ於テ吾兒ニ云々吾子孫可レキ王之地也日本書紀ト、御愛子ニ

依賜フ水穂國柄ヲ、愛慕シ、別シテ自己ノ本分ヲ竭シ

テ、其職業ヲ力行リヨクカケシ、国忠ヲ顯ハスヲ愛國ノ謂トス。神

官僧侶ハ、教部ニ盡力シテ、皇道ヲ恢張シ、御國是ノ條

件等ヲ説教シテ、民心ノ方嚮ヲ誤ラザルヤウ勸奨スルヲ

要トス。扱愛國ノ熟字ハ日本書紀持統卷尊朝愛國ノ文

ヲ權輿トス五十六代清和ノ卷ニ。但シ其義意ハ上弁ノ如ク、早

ク神代ニ事実アリ。随ヒテ神武紀ノ御詔ニ出ル処ノ阿那

邇愛夜獲ニ之國ニ云々ノ文等ミナ愛國ノ考証ナリ。

天理人道ヲ明ニスベキ事

天理トハ、日本書紀神代卷二違ヒト陰陽之理二所以生ニ

蛭子トアル文、マタ乾道独化トアル文並ニ神武紀ノ向

日戰者逆天道也トアル文等、ミナ天理ヲ示ス皇典ナリ

四十三代元明帝和銅年ノ勅詔ニモ天地之恒
理ト云ヒ或ハ天地之理也トモノ玉ヘリ。
但シ古事記伝ニ宣長ハ、
日本魂ヲ築立、コノ天理天命ト云説ヲ痛ク破斥シテ、有

名無実ノ虚目トシ、偏ニ漢格ノ文言ヲ嫌フ亦其支流モ

屢此レニ從ヘリ。雖然方今、斯ク天理ト文言ヲ施シ

玉フ上ハ、先ツ試ミニ講究セズンバアルベカラズ。凡ソ

日本書紀ノ文上ハ、本ヨリ漢土ニ対峙シテ、漢格ノ文言

ヲ主トシ玉フコト異論ナシ。而シテ其文上ニ泥マズ、文

意ハ皇國ノ古伝ヲ濫ニスル條、勿論ナリ。然ルヲ強テ文

上ニ関リテ、猥リニ謗言ヲ容ルルハ、未ダシキ非礼ノ

説ト云ベシ具サニハ陋筆ガ神
學弁種ニ論弁ス。於レ茲今コノ天理トイフ言ヲモ

准曉スベキナリ。先ヅ諾冊兩尊ノ蛭子ト云惡子ヲ

生ミ玉ヒシニツキ、天神ノ御所ヘ窺ヒニ參上玉ヒシ時、

違ニ陰陽之理ニ所以生ニ蛭子ト天神ノ詔リ玉ヒシハ、

直チニ天神ノ御即答ニハ非ズ。太占太占ト云ハ上古重事ノ御占ニテ
後世ノ龜ト占相ノ類トハ天淵也

ニト問シテ、天ノ理ヲ議リ定メ玉ヒテ、詔リ玉ヒシ古伝

ノ趣キナレバ、諸天神トテモ此太占ニト問シ玉フハ天

理テフ事ノ無キヲエザル事実ナラムカ。若シ不然ト云

ハバ、高天原ニテ諸天神ノ太占ハ何ナル神ノ御教ヘラ受

ントト問シ玉フ事ナルヤト云ベシ此條宣長モ通辭シ
テ論テ明弁ナキカ。猶按

ズルニ、開闢ノ初発ヨリ天然トシテ、男神先ヅ成リ玉

ヒ、後チニ女神ノ成リマスハ古伝一轍ノ伝ヘニシテ、強テ神為ニモ非ズ。コレ諸冊兩尊以前ハ、自然ナル天ノ理トシテ、陰陽順次ノ理ナルヲ、其天ノ理ニ違ヒ玉ヒテ、女神先ヅ言拳シ玉フ故ニ、不_レ良。コレ違ニ女男之理ニト太占ニト定メテ天神ノ詔リ玉ヒシ其原ヲ究ムルニ、何レニモ天ノ理リテフ事ハ、皇國ノ固有ニ無キヲ得ザル文意ナリ。故ニ日本書紀ニハ此旨ヲ含シテ、文格ヲモ取リ玉ヒシ事ナレバ、強テ文上ニハ泥ムベカラズ。斯ク方今断然トシテ天理ト立言シ玉フカラハ、其レトイヒ、此レトイヒ、何ゾ疑式ヲ生ゼムヤ。如上件ナレバ、先ヅ皇教所談ノ天ノ理リテフ事ヲ論究シ置テ、而シテ後ニ儒教ノ天理元氣云々ヲモ交説シ、或ハ時運沿革四時循環等ヲ以テモ、此レ賛成セムハ、イヨイヨ御主意ニ悖ラザルベシ。若シ不然ハ、三條ノ中、余條ハスベテ皇教ナルニ、此天理ノミ、単儒教ト成テ、章意一貫セズ。且ツ大教院祝詞上ノ詔ニ三條ハ神ノ道、神ノ法トノ玉フ詔意ニモ符合セザルナリ。

人道トハ、是亦首ヨリ儒典ヲ仮ルニ非ズ。皇國ノ固有ニ

早くヨリ大神ノ大御言ニ出ル処、明倫ノ神教アリテ、既に完備セリ。日本書紀神代卷曰。大神勅_ス天兒屋命_フ太玉命_ニ惟爾_ニ二神亦同侍_ニ殿内_ニ善為_ニ防護_ト、詔リ玉ヒ五部_{中臣忌部ノ上ノ祖也}女鏡造玉造_{凡テ}ノ臣神ヲ、始メ御子孫ニ配侍シ玉フハ、即チ君臣倫教ノ基元ナリ。又上ニ引文スル齋鏡授与ノ神勅ハ、吾兒ヲシテ、親神ノ遺躰靈像ヲ鏡中ニ仰ガセ玉ヒ、孝敬ヲ祖考ニ盡サシメ玉フ父子大倫ノ神教也。又同神代卷ニ、大神以_ニ高產靈尊_ノ之女、名萬幡姬_ニ配_ニ天忍穗耳尊_ニ為_レ妃、トアルハ即チ夫婦倫ノ垂訓ナリ。又古事記上ニモ神產靈神ノ詔ニ、少彥名神与_ニ汝蘆原色許男命_ニ為_レ兄弟_ト一作_ニ堅其國_ト、ノ玉フ。コレ兄弟倫也。又日本紀神代卷ニ味耜高彥根命朋友之道理宜相弔云々、コレ朋友倫也。此外姉妹兄弟等ノ文尠々ニ出タリ。如斯皇國固有ニ惟神ノ人道アリテ此ヲ補充スレバ遺漏ナシ。サレバ皇教ニ於テ不足ナルコトヲエズ。是故ニ神教要旨ニモ五者_ハ倫也云々至哉神訓無_ニ以_レ尚_トノ玉フ。同ク略解ニハ儒教ヲ仮ラズ、仏教ヲ仮ラズ、後世又何ヲ以テカコレニ加ヘンヤト弁定シ、猶具サニ父子倫・君臣倫等ノ

典拠ヲ神勅ニ取テ、此五倫教ハ悉ク神代ニ胚胎シ、皇教マサニ不^ル乏^シノ義旨ヲ、弁明セラレタリ。然レバ今コノ人道トハ皇国神教ノ大義ナリ、ト決定シテ而シテ後チ儒典等ヲ以テ賛成スルヲ要トス。

皇上ヲ奉戴シ朝旨ヲ遵守セシムベキ事

皇上トハ、皇帝主上ヲ中略スレハ皇上ノ目ヲ成ス。是則チ上事^ニ一人^ニノ謂ナリ。別シテ方今郡県之制ヲ仰ギ天祖ノ神胤^ニ在^スト^テ奉戴スル也。

朝旨トハ、勅詔及ビ御布令等ヲ指ス。サレバ皇上ノ言ハ人^ニ就^キ、朝旨ノ言ハ法^ニ就^ク。人^法ノ差^ト云^ベキカ。

而シテ朝旨ヲ遵守スルハ、即チ皇上ヲ奉戴スルナリト云義ヲモ弁得スベシ。サテ方今天下ノ民心、実ニ皇上朝旨ヲ遵奉スル元由^ヲ知覚セザルニ似タリ。是故ニ頃日ノ大

御詔ニモ、方今国ノ未ダ開ケザル人民ヲシテ、朕ガ意ノ在所^ヲ信奉セシムルヤ、ト詔リ玉ヘリ。古事記伝ニハ抑

吾ガ天皇尊^ハ、日ノ神ノ御子ト申テ、賤シキ国々ノ王ト

モト、等^ナニハ坐^マサズ、此御国ヲ生成玉ヘリシ神祖命ノ授玉ヘル皇統^ニ坐^マシテ、天地ノハジメヨリ大御食

国ト、定マリタル天下ニシテ、善ク坐サムモ悪ク坐サムモ、側^ヨリ伺ヒ議奉ルベキ^テ能ハズ。天地ノアル極ミ、

日月ノ照ス限リハ幾萬代ヲ經トモ、動キ坐サヌ大君ニマセリ。故ニ古語ニモ當時ノ天皇ヲ神ト申シテアリ。実ニ

神ニ在セバ、善悪キ御上ノ論^ヲステテ、ヒタブルニ畏^ルコミ敬ヒ奉仕^ゾ誠ノ道ニハアリケルヲ、中古ノ世ノ乱

ニ、コノ道ニ背キテ畏クモ朝廷ニ射向ヒ、天皇尊ヲ惱^シシ奉^リシ北條・足利義時等^ノナドガ如キハ、穴賢天照日ノ大

御神ノ大ミカゲヲモ思ヒハカラザル賊奴ナリ云々ト、宣長ハ日本魂ヨリカク遵奉^ノ道ヲ解ケリ。此ニ外史者ハ勸

懲^ノ為ニ、先王ノ得失ヲ忌諱^{ナク}議シ、以テ后王ノ龜鑑^トスルノ理勢ヲ直論スルハ是又遵奉^ノ所以ニハアレド

モ、歴朝帝后ノ御上ヘニハ勅撰ト私撰トノ區別モアレバ、猥^ニ下流^トシテ謾筆ヲ私史ニ放チ、御事実ヲアゲテ

露言スルコト勿レ。夫天ニ天変アリ、地ニ地妖アリ。人ニ亦倫理ノ変ナキヲエズ。サレバタダ一時ノ変理ニシテ

常理ニハ非ズ。返々スモ克注意^ヲカレ、コレニ用ユ可キカギリカト畏ミ奉ルナリ。兎角ニ愚夫愚婦ヲ説教シ、皇

上朝旨ヲ遵守セシムルノ要ニハ、先ヅ日ノ神御子タル原由ヲ説キ諭スヲ一箇ノ口術トス可シ。

躰明令ノ三語ヲ此三條ニ分置シ玉ヒタルハ、各其司ル処ノ義意アルガ故ナリ。猶此三語ヲ互ヒニ三條ヘ置キ交ヘ、互ヒニ倚テモ解スベキナリ。別シテセシムノ和語ハ、自ラモ此ヲ遵奉シ、人ニモ遵奉セシムベキ兩向ノ語勢ナルコトハ勿論、總テ三條ハ自他ヘ係テ我モ躰明シ、他ヲモ躰明セシムベキノ教憲ナレバ、殊更ニ盡力勉勵シテ方今説教者ノ真務トスベシ。

凡ソ此三章ハ、仰ゲハ弥ミ高ク、究ムレバ益ミ深シ。今聊カ大海ノ一滴、九牛ノ一毛ヲ略弁スルノミ。尚天下ノ衆人、終身之レヲ謹守スベキノ要旨ナリ穴賢。